



### 学校紹介 ~その42~

#### 卒業式について

2月28日(金)に卒業式の予行、3月1日(土)に卒業式を挙行政いたしました。

#### 予行の様子



予行時に行った各種表彰式では、全国高等学校定時通信制教育振興会をはじめ、伊丹市や各協会、団体等から、多くの卒業生が表彰されました。また、今年2月に受賞が決まった、日本漢字能力検定協会主催「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」審査員特別賞の賞状が前日に届き、受賞した磯田紀美子さんの表彰も行うことができました。

#### 卒業式の様子



#### 答 辞 徳島 沙綺

私は、この市高に入学し、卒業できることをとても嬉しく思っています。入学してからの三年間で、私はとても成長できたと思います。

この学校には、さまざまな年齢層の方が色々な理由で定時制を選んで学んでいます。先生方はこういう人達に対しても、みんなに平等で器の大きさを感じます。これは定時制に来なかったらわからなかったことだと思います。

私は一年生の頃、学校で学ぶ大切さがわからず、授業中遊んでばかりいました。今考えると楽しいことにしか目を向けず、嫌なことがら逃げていた、と思います。二年生の半ば頃にイスラム教と出会って私の考え方が大きく変わりました。まず第一に人の気持ちを考えるようになりました。今までは、自分のことしか考えていなかったけれど、この言葉に対して相手がどのように思うかを考えてから発言するようになりました。

た。第二に人のことを、よく見るようになりしました。今まで他人にあまり興味をもつことがありませんでしたが、現在は、人の外面、内面をよく見て、その人の良い部分を吸収しようと思うようになりしました。

最近、電車の改札口である体験をしました。それは、少し障害のある方が、切符を買えなくて叫んでいたのです。その人は周りの人に助けを求めていましたが、私も含め、みんながその人に手を貸さないで見て見ぬふりをしました。このことが心残りで、後になって色々考えたとき「もし、この人が障害がなく、このことで世間の冷たさを感じたなら、とても悪いことをした」と思いました。母に相談してみたところ、母も「少し変わったような人なら見て見ぬふりをしてしまうかも」と言っていました。私が「この人がもし、お年寄りや小さい子どもならどうしていた？」と聞くと母は「助けていた、やっぱり少し障害があるような人だと何をされるか予想がつかないから怖い」と言っていました。この経験と母とのやりとりの中で「もしかしたら人間は平等ではないのかな」と思うようになりしました。

私は三年生の七月からイスラム教を信仰し始めました。十四年間指導してくれているバレエの先生からは「それって大丈夫なの？怖くないの？」と言われました。異質に見られていると感じました。私は、スカーフをしているとき、冷たくされた経験があります。私はこのとき「変な人」と思われていると思っていましたが、この電車の方と同じように「怖い」と思われていたんだとも思いました。現在はスカーフを巻いていません。

しかし、学校の先生と友達は、イスラム教になってスカーフを巻いてくる私にも今までと変わらず、私を受け入れてくれました。この頃から平等について一層考えるようになりしました。平等に接する難しさを知りました。障害がある方、見た目には違和感がある方、人達を平等に見ることはとても難しいことだと思います。このことに気づけたのは良かったと思います。

今は、一つのことだけを見るのではなく、色々なものを見たり聞いたりしてたくさんの経験を積み、この中で自分が良いと思うことを探していきたいです。卒業してからは先生方がしてくれたように、私も器の大きい、暖かい人間になるよう努力していきたいです。

#### 答 辞 比嘉 範正

僕がこの学校で学んだことは、「感謝」です。

入学したばかりの頃は中学の延長気分で毎日目標もなくダラダラと学校生活を送っていました。しかし、そんな僕にも一つだけ絶対にやってやろうと思っていたことがありました。それが、この学校を三年で卒業



するという事です。

最初は親に言われてなんとなくやっていたのですが、次第に自分でも「全日の子たちには、負けたくない。定時制だからとバカにしてきた人たちを見返してやるんだ。」という気になりました。その気持ちでここまで頑張れました。

でも僕は、ここまで頑張れたのは自分ひとりの力ではなかったと思います。三年生で卒業するためにみんなより多く授業を受講していました。そんな僕たちを少しでも楽しませようと先生方は、毎週ユニークな授業を考えてきてくださいました。さらに先生の方から「今日もおいでや」と声をかけて来てくださったりもしました。この学校の先生方は、どの学校の先生よりも親身に僕たちの話を聞いてくださいます。他にもたくさん仕事があるはずなのに、僕たちの為に惜しみなく時間を割いてくださいます。本当に感謝しています。先生と生徒たちの距離が近く、信頼関係を築き上げることができているところが、この学校の良いところだと思います。

市高はあと一年で無くなってしまいます。他の学校に行かれても、心は一生市高の先生でいてください。

そして卒業する今、僕は在校生の皆さんにどうしても、伝えたいことがあります。それはもっと色々な人たちと話をし、友達になってくださいということです。それが僕の市高での三年間でたった一つ後悔していることです。しかし皆さんにはあと一年あります。まずは自分から話しかけてみてください。絶対に友達になれると思います。

僕たちは、皆より先に卒業します。自分たちが遅れているとか、負けているとか思わないでください。僕たちは少しだけ皆よりもやりたいことが早く見つかっただけなんです。

みんなにはあと一年あるので明確な夢、目標を見つけてそれに向かって突っ走ってください。来年の今頃には全員がこの舞台に立っていることを楽しみにしています。

こんな俺やけど三年間仲良くしてくれてありがとう。あと一年精一杯楽しんで新しい目標に向かって頑張ってください。

今日、僕が一番感謝の気持ちを伝えたいのは、母さんと、本当の父さんではないけれど母さんと一緒に僕をここまで育ててくれた松っちゃんです。この場をかりて「ありがとう」を伝えたいと思います。

「母さん、松っちゃん、ほかの子よりも勉強もできないし何のとりえもない俺を何不自由なく育ててくれてありがとう。これからも迷惑かけると思うけどこの恩は絶対に返すから、あともうちょっと許してください。」

いつもは恥ずかしくて面と向かって言えないけど本当に感謝しています。

「ありがとう」



### 答 辞 磯田 紀美子

市高での四年間は、とても楽しくて、心地よくて、夢のような時間でした。

私が高校に行きたいと思った動機は、中卒では希望の職業に就けなかったからです。それともう一つ。友

達が高校時代の思い出を楽しそうに話しているのを聞くたびに、みじめな辛い気持ちになり、私も高校生活を楽しんでみたいと思ったからです。しかし、見知らぬ世界に踏み出す勇気が持てなくて、高校に入るまでに四十年もかかってしまいました。

入学した時は、あこがれていた「花の女子高生」になれたことが、ただただうれしくて、勉強があることをすっかり忘れていました。授業が始まると勉強がわからない、覚えられない。とても苦しみました。けれども市高の先生は、なかなか理解出来ない私に、嫌な顔一つなさないで、何度も繰り返し、わかるまで教えて下さいました。

しつこく質問するのは「お忙しい先生方に悪い」と思っていたのですが、ある先生から「教えるのが好きで教師になったのだから、どんどん使ってください。聞いて下さい」と言って頂いて、すごくうれしくなりました。

市高の先生方は、私に勇気を下さいました。自信を与えて下さいました。可能性を見だして下さいました。何もできないダメな人間だった私は、市高で学んだことにより、たくさんの知識や常識を身につけることができ、心が豊かになったと、今、実感しています。

勉強以外にも、部活動では書道部、家庭科部、写真部で活動したり、清掃ボランティアや体験活動「地域と学校」を選択して農作業をしたり、地域の方と陶芸や餅つきをしたり。文化祭ではコスプレをして、歌って踊って、年甲斐もなくはじけまくりました。三年の時には生活体験発表大会で、市高代表として阪神丹有地区大会に出場し、緊張で倒れそうになりました。それもすべていい思い出です。

「勉強って面白いなあ、楽しいなあ」と五八年生きてきて初めて思いました。頑張って良い結果が出れば、前よりも一点でも良い点数を取ろうと思えたり、頑張っても結果が出ない時は、悔しくて頑張る、という繰り返しの四年間でした。

四年間、平均睡眠時間は四、五時間でしたが、何かにとりつかれたように勉強しました。それが生きがいになっている時もありました。

ともに卒業していく同級生のみなさん。そして下級生のみなさん。これからの人生、楽しいことばかりではありません。困難なこと、苦しいことも多々あると思います。強い心で乗り越えていって下さいね。私はこれからもくじけることなく、前に向かって進んでいきます。

最後になりますが、改めて、私を受け入れて下さった市高、そして、教職員の皆様に感謝申し上げます。

幸せな高校生活をありがとうございました。



### 3月の行事予定



- |    |        |            |
|----|--------|------------|
| 3月 | 1日(土)  | ……卒業式(行基町) |
|    | 5日(水)  | ……アートセラピー  |
|    | 12日(水) | ……卒業式代休    |
|    | 20日(木) | ……終業式      |

